

風の子便り



KAZENOKO DAYORI

卒園にあたって 副園長 大矢 明



エール 卒園する君たちに期待すること

自分の力を十分に発揮できること
誰かのために自分の力を使えること
自分が力をだしたことが誰かの喜びになること
それが自分の喜びにもなることが 君たちならすぐにわかることだろう
みんなが惜しみなく自分の力を発揮してほしいと願う
それが 自分の根っこになるのだから



どんどん失敗したらいいじゃないか はじめからうまくいくななんて面白くない
まちがえてしまったら まちがうやり方を考えればいいじゃないか
わからないことはだれかに聞いてみればいい
そうやって 自分の枝葉は広がっていくのだから

自分の思いを伝えよう 目を見て話を聞こう 自分ができるところを考えよう
みんなといっしょなら、もっとすてきなことができるにちがいない
困ったときは工夫しよう つらいときは助け合おう 嬉しいことは共に喜ぼう
きっとそんなふう未来をつくって たくさんの笑顔を見せてくれることだろう
そうして みんなで みんなの未来を 明るく 楽しく 優しいものにしてほしい
だいじょうぶ どんなことだって きっとなんとかなる 卒園おめでとう

保護者のみなさま、お子たちの卒園おめでとうございます。いよいよ小学生です。これまでと子供たちとのかかわり方は少しずつ変わっていきませんが、いつまでも変わらぬ愛情をもって、温かく子供たちを見守り支えてやっていただきますようよろしくお祈りします。

そして、誠につたない風の子便りにお付き合いいただきましたことお礼申し上げます。ありがとうございました。



春と言えばドラえもん。ずっと感動を贈り続けてくれます。素晴らしい友情をいつまでも！『のび太の結婚前夜』より